



X



E-1775



3,138
155

ソビエト連邦 養蠶業ハ現時中央亞細亞 (カウズベクスタ
 ↳タジクスタン) 後高架索 (マグルウジャ) ↳アブハジャ ↳アゼ
 ↳ルベイジヤン ↳アルメニヤ) 露西亞東南部 (キルギジヤ) ↳カ
 ↳ザクスタン) 其他) 及 ↳ウクライナ) ノ南部ニ行ハレ近時漸次發達シ
 ↳ツツアル) 就中最盛ナルハ高架索及中央亞細亞ニシテ戰前ハ九千噸
 餘ノ產繭アリシカ内亂ノ爲衰退シ其後秩序ノ恢復ト相俟テ漸次復興シ
 ↳ツツアリ) 其ノ各地方ニ於テハ繭ノ產繭 (生) 量キ亦セハ左ノ如シ (單位
 千噸)

一九一三年	中亞	アゼルベイジヤン	グルウジヤ	計
四・九				三・二
				一・六
				九七

記

BII

(分類 E4.3.1.2)

公第一五號
 昭和六年一月三十一日
 在オデツサ
 領事 田中文一
 外務大臣男爵幣原喜重郎殿
 「ソ」聯邦政府供給部本年度養蠶業ニ關スル施設ニ關スル件
 「ソ」聯邦政府供給部本年度養蠶業ニ關スル施設ニ關シ左記ノ通り報
 告申進ス



歌米局

第一課

昭和六年一月廿七日
 別紙
 BI

正

通商局



156

一九二六年	四八	六七	三五	九〇
一九二七年	六三	三〇	三〇	一〇三
一九二八年	九四	三二	二六	一四二
右ノ中國營及コペラチーガ機關ノ生産高ハ左ノ如シ(單位千噸)				
中亞	四五	三二	四七	五二%
後高加索	三六	三六	七二	七二%
計	六六	四三	一〇九	七七%
右ノ中外國輸出高ハ左ノ如シ(單位噸)				
乾繭	二五〇〇	二八三	三一四	
繭	一三〇〇			
絹絲層				

157

一九二七—一八年度 一九三 四一一

(乾繭—「キログラム」ハ生繭—「キログラム」ノ計算)

一九二八—一九二九年度ニハ繭及絹産物九百五十七噸其價格二百八十四萬五千留ニシテ、一九二九—三〇年度初九ヶ月間ニ繭七百二十噸其價格二百三十九萬八千留ナリ。

右輸出繭ノ仕向地ハ殆ト全部伊太利ナリ。

近時「ソヴェト」政府ハ養蠶業ノ奨励ヲナシタル爲大ニ發達シ其地域モ漸次擴大シツツアリ。

「ソヴェト」聯邦政府ハ一九三〇年十二月十一日付供給部令第三二六號ヲ以テ、一九三一年度ノ蠶種及繭ニ關スル施設ヲ規定シタルカ其要領左ノ如シ。



159

協議ノ上定メタル方法ニ依リ農業組合ニ對シ供給ス
 蠶種ノ製造ハ一定機關ニ一任シ個人養蠶家ノ製造販賣ヲ禁スルコト
 セリ
 蠶種ノ價格ハ農業組合ヘノ御値ヲ一箱二十五瓦ニ付二留五十哥トシ農
 業組合ノ養蠶家ニ對スル賣渡費ハ在來ノ養蠶地域ニ於テハ一箱二十五
 哥新地ニハ五十哥トシ右代金ハ產繭引渡ノ際決済ス
 養蠶獎勵ノ爲 ^{中亞} ^{露西亞} 及 ^{ウクライナ} ^{ウクライナ} ハ豫定配布額ノ蠶種ノ三〇
 % 其他ハ一〇%ヲ無料ニテ配分ス但シ右ハ ^{貧農及學校ニ} ^{優先權ヲ與ヘアリ富農ニ對シテハ特ニ高價ヲ以テ現金ニテ賣渡ス}
 蠶卵孵化法改良ノ爲養蠶教育機關ハ本年ハ地方ニ依リ四〇一〇〇%
 ヲ孵化セル幼蟲ヲ配分スルコトナリ居レリ

BII

1586

蠶種

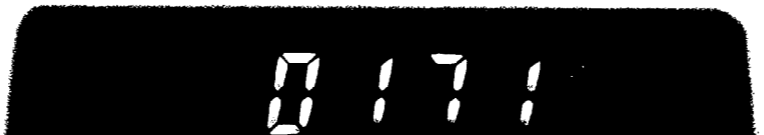
蠶種ハ飼料及前年度養蠶業ノ實績ニ鑑ミ一九三一年（以下本年ト稱ス）
 度ノ需要量ヲ七十一萬千箱（一箱ハ二十五瓦）トシ之ヲ左ノ地方ニ
 分ツ（單位千箱）

蠶種	一九三一年度豫定	一九三〇年實績	對前年増率
中亞	四二〇	三七四	一三二%
高架索	二四〇	一七五	三七一%
露西亞	四〇	二七六	五〇〇%
ウクライナ	一〇	七二	四〇〇%
計	七一〇	五八四	二二七五%

蠶種ノ供給ハ各其共和國ノ蠶絲ヤトラストノ中央機關カ農業組合ト

BII

秋



165

右蠶種配分計畫及産繭率ニ依リ原料タル繭ノ特約量ヲ二萬二千五百九十二噸半ト定メ之ヲ左ノ通りニ分ツ(單位噸)

ウクライナ	二八〇〇	八六四	二二四〇
ウクライナ	一〇六二五	四二七四	一四八〇
高架索	八一九〇	四七二〇	七三五
中亞	一三〇六〇	九二七四	四〇八
一九三一年計	二二三五	八六四	二二四〇
一九三〇年實際買付量	三二七七	二四八	
増率			

特約ニ依ル繭買付量

全 國

カザクスタン 二三五

ウクライナ 二八〇

全 國 三二七七

一九三〇年實際買付量 二四八

増率

BII

160

養蠶家ハ産繭ヲ一定ノ限度以上ノ量ヲ買上機關ニ引渡ス義務アル其ノ限度ハ左ノ通り(單位蠶種一箱ニ對スル「キログラム」)

ウズベクスタン	三三五	二七一
トルコメンスタン	二八〇	二二八
タジクスタン	二七〇	一七一
グルジャ	三六〇	三二七
アゼルバイジャン	三二五	二二一
アルメニヤ	五四〇	四五一
ウクライナ	二八〇	一九七
一九三一年	二五〇	一九七
一九三〇年ノ實際限度		

BII



計

二、五九三、五

一四、五〇八、四

五、五八

産繭賣渡特約

特約ハ前記蠶絲トラストヤカ、養蠶團體トノ間ニ契約書ヲ作成シテ之ヲ行ヒ其契約期間ハ一月一日ヨリ二月末日迄ノ二ヶ月間トシ富農ニ對シテハ特約ヲナス

特約ノ契約書ニハ生産者側ノ義務トシテ、(一)所定限度以上ノ産繭全部ノ賣渡(二)養蠶教育法ノ實行(三)賣渡ノ方法及期限(四)養蠶法ノ改良(五)過怠金ノ支拂等ヲ、特約ヲナス側ノ義務トシテ、(一)蠶種及用品ノ供給(二)蠶卵ノ孵化(三)前渡金ノ額及交付期日(四)教育派遣(五)買付價格(六)契約外數量ノ賣渡ニ對スルプレミヤム等ヲ規定ス

前渡金額ハ繭一「キログラム」ノ價格ヲ平均一留五十哥トシテ特約量

BII

153

152

秋

ノ二五%セルカ社會的現象ニ依リ累進法ヲ適用シ「キログラム」ニ付四十五哥貧農ハ四十哥中農ハ三十哥ト定メタリ右前渡金ニ對シテハ利息ヲ附シ「キログラム」ハ年利七分其他ハ一割トス
右特約所蓄ニ依リ前渡金及融通金ヲ現金及現物ヲ以テスルコトトシ全國ニ付現金八百四十七萬二千留現物百九十六萬四千二百五十留合計ハ千四十三萬六千二百五十留ヲ計上シ右金額ハ國家銀行ヨリ特約ヲ行フ機關ニ對シ十二月二十日迄ニ生産者ニハ一月一日迄ニ融通セシムルコトトセリ

繭ノ買付値段

本年度繭ノ買付値段ハ前年通り



163

二化性蠶飼育獎勵ノ爲(一)二化性蠶繭ハ春蠶繭ヨリ二割増ヲ以テ買上
 (二)蠶種及孵化蠶消毒材料等ヲ無料ニ供給シ、棚及小器具ヲ優先的ニ供給
 ス(三)蠶カ、養蠶家ノ罪ニ依ラズシテ斃死ノ場合ニハ蠶齡ノ如何ニ依リ蠶
 種一箱ニ付三留乃至二十留ノ賠償ヲナス、右獎勵費ハ買付繭ノ代金中ニ
 含マシム

桑實準備 500

本年度需要ノ桑實ハ全國合計六十一噸半ニシテ繭ノ特約及買付ヲ爲ス
 機關ニ於テ之ヲ準備スルコトトシ其平均價格ハ一疋ニ付十五哥トス右
 桑實ノ生ノモノトシ乾燥ノ程度ヲ制限ス

其他ノ施設 500

養蠶業發展ノ爲就中左ノ施設ヲ必要トセラル

BII

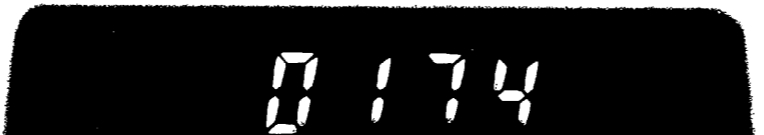
164

中亞(キルギジャ、カザク、
 スタンヤ共)及高架索
 新地方及ヤウクライナ
 個人製蠶種ニ依ル繭價ハ工場製ノモノヨリ二割安トス
 繭ノ引渡期限ハ生産者ヨリハ中亞及高架索ハ七月一日其他ハ八月十五
 日トシ買付機關ハ殺繭、乾繭撰擇ノ上中亞及高架索ハ十月一日
 地方及ヤウクライナハ十一月一日トス

養蠶獎勵法 500

養蠶收穫高増加及品質改善ヲ獎勵スル爲契約以上ニ賣渡ス繭ニ對シ一
 疋ニ付二十五哥ノ、ブレミヤムヲ與ヘ其外ニ養蠶家ニ對シテハ市場
 不足ノ消費貨物ヲ特別ニ供給スル定アリ

BII



海外送付
昭和6年 6月 6日
第4.年 第1 4 號



(分類E4.3.1.2)

公文書	公 信 案	本件ニ關シ今般在オケケ田中ト領事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付御参考ノ爲右茲ニ送付ス (昭和六年一月三十日附在オケケ館來電第一五號寫並附屬書)	件名 ソウキョウ連邦印ニ於ケル蚕養業ニ関スル件	受 信 人 名 松村 農務局長	主 管 歐米局長 主任 第一課長	文書課發送 昭和六年參月六日 發送濟 淨書 正校(原稿) 為 (淨書) 為
			發 信 人 名 永井 事務局長	歐一普通第 昭和六年參月五日日附	附屬書 通	

文書課長

公 信 案

別紙

(原議用紙甲)ナ

新養蠶地方ニ於テ養蠶ニ關スル機關維持費回收ニ付農業組合ノ負擔輕減ニ關スル方法ヲ講ジ其費用ハ繭價ニ含メルコト
 繭ノ特約及買付機關ヲ統一スルコト
 主トシテ女子養蠶組合等ノ共同飼育團體ノ擴張ヲ圖ルコト
 桑園ヲ擴張シ最近二年間ニ桑三百萬株ヲ増加スル爲農務省ニ於テ然否ノ方法ヲ講スルコト
 乾繭場殺蛹場建築ノ爲木材ノ優先的供給ヲナスコト

BII

穀米局
普通第二四號

昭和七年三月十一日

在ハバロフスク

總領事代理 小柳 雪

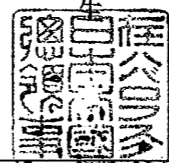
外務大臣 芳澤 謙吉 殿

「ニコリスク、ウスリスキー」ニ「サユーズ、シヨルク」極東事務所設置ニ關スル件

三月十日發行當地極執委員會議議紙ノ報スル所ニ依レハ今般極執
委員曾幹部曾ノ決定ニ基キ「ニコリスク、ウスリスキー」ニ「サ
ユーズ、シヨルク」極東事務所ノ設置ヲ見タルカ「サユーズ、シ
ヨルク」ノ組織ハ極東南部各地方養蠶業ノ發展並養蠶及桑栽培各

在ハバロフスク日本總領事館

昭和七年三月廿八日接受



種生産物ノ買付契約・供給及耕作ニ關スル總ユル機能ヲ網維シ居
リ極執委員曾ハ養蠶業ニ關スル^農業施設費トシテ六千五百留ヲ支
出シタル趣ナリ右側參考迄報告ス

在ハバロフスク日本總領事館



公 信 案

文書課長

文書課發給

主 歐米局長

主 第一課長

昭和七年三月二十八日

別紙

正校(原稿)

(甲號用紙)

歐一機第 九二

昭和七年三月十日

附屬書

通

受信 人名 青野南村 次官 務員

發信 人名 永井 次官

件名 協同設置、同件

名 込 綴 養野南村 次官

本件ニ關シ今般在ハハラスクノ孫治郎理事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付御參考ノ爲右茲ニ送付ス

(昭和七年三月十日) 日附在 館來電機第二四 號寫並附屬書寫

公 信 案

外 務 省

通商局

30 14

5.162 通商局

303

公第四〇號

昭和七年四月二十二日

在オテツサ

領事 田 中 文 一



外務大臣 芳 澤 謙 吉 殿

「ソ」聯邦蠶絲業發展策ニ關スル件

本年蠶絲業發展ニ關シ聯邦人民委員會ハ三月二十七日付決定ヲ公布セルカ右決定ノ要領左ノ如シ

聯邦共和國人民委員會及聯邦農務部ハ左ノ方策ヲ講スルコト

通商局

昭和七年五月十日

BI

記



特約繭引渡完了ノ際之ヲ交付ス
 供給部ハ工業製品八百萬留分ヲ第二期中ニ、二百萬留分ヲ第三期
 中ニ養蠶家ニ對シ一般販賣手續ニ依リ供給スルコト
 布報告申進

BII

土地整理ノ際桑園ハ最大限ニ之ヲ保持スルコト
 本一九三二年中、コルホズノ植付ヲナス桑園ハ四萬「ヘクタ
 ー」本年末現在合計五萬九百「ヘクター」トス
 (三) 桑植付ニ對スル金融ハ他ノ多年作物ニ對スルト同様トス
 (三) アソフホズノ桑園ハ本年末迄ニ一萬五千「ヘクター」トシ之ヲ
 蠶絲業機械化ノ中心指導機關トス
 (四) 蠶絲業及桑栽培ノ技術向上ノ爲 ライオン 試験所百ヶ所以上
 ヲ組織ス
 (五) 本一九三二年中ノ繭特約高ヲ一萬八千噸トス
 (六) 養蠶家需要ノ爲 賣上繭「ツエントネル」ニ對シ穀物「ツエ
 ントネル」ノ割合ニテ供給スルコト、シ其三五%ハ飼養期ニ殘

BII





海外經濟事情掲載濟
昭和 7. 年 6. 月 6 日
第 5. 年 第 2. 號

後
通商局

EY.3.1.2

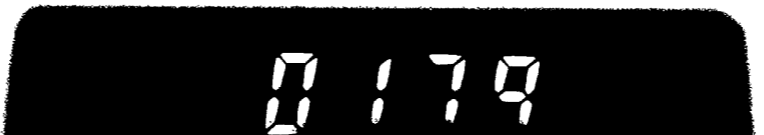
文書課長	文書課發送	五月拾六日發送	昭和七年五月十三日	原議用紙甲ナ
主 管	歐米局長	任第一課	五月拾六日附	(淨書)
受 信	農林省入江發給局長	昭和七年五月拾六日附	附屬書	通
件 名	聯邦登録絲業發展策ニ關スル件	發 信	松島政米局長	
件 名	聯邦登録絲業發展策ニ關スル件	名 込	表 示 書 呈 (寄 後)	
本件ニ關シ今般在「オダツサ」田中領事ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付爲御參考右茲ニ送付ス				
(昭和七年四月二十二日附在領事館來信) 電報第四〇號 富原附屬書宛				
公 信 案				
外 務 省				

16 80 (記)

通商局

EY.3.1.2

歐米局	公第 四七 號	昭和八年四月二十四日	在「オダツサ」	領事代理 大谷ニ郎	昭和八年五月拾六日接受
外務大臣 伯耆内田 廉哉 殿	西郡 西伯利ニ於テル養蠶業ノ獎勵ニ關スル件	本件ニ關シ「オダツサ」州内ニ於テル養蠶業ノ發達ニ關シテハ左記ノ通りノ意見ヲ「オダツサ」ニシテ呈上セラルルニ付其要旨ヲ抄取シテ上列ノ如ク御參考此致報告ス			



記

灌漑の発達せる中央亞細亞及後高梁地方ハ風シ
 養蠶業ノ中心地ト目セラルルモ元來是等地方ノ土地ハ南
 方シ能ク有用栽培物タル棉花等ノ爲メニ割當テラレタル
 モノト見ルベキナリ。從テ此等地方ト環境ナル以北ノ地方
 時々西部西伯利ニ移テ養蠶業ハ企業トシテ成テノ見込
 イラセトノ問題ガ必然然目ノ的トイリ来レリ。
 蠶ノテ西伯利ニ移テル新業ノ狀勢ヲ見ルニ既シハハ七
 年ニ移テ、クルムロフニ教授ガトハナク、大學附屬ノ植物園
 々桑ノ木ノ試種ヲイシタル以來、桑ノ木ノ栽培ハ引續キ
 ガムスク、イルグゾフオイカ、¹スタワドゴロド、¹ボリレヨイヌストク
¹ゴイスク、¹バルヂマル、¹グイロトトワラ、¹マルトウインバーシユ
¹ボロトノエ、¹トリスクリ等ノ若管出ニ移テ行ハレ来リ、桑ハ

CII

西部西伯利ニ移テ決ニテ確秘セガルト判明セリ(トム
 ルクニ能クハ既ニ四イシ年間桑ハ命脈ヲ絶タズ)當
 地方ニ移テハ桑ノ木ハ最も有利ナ形、即チ灌木林トシ
 テ栽培サル。西伯利ノ桑ノ業ノ性分ハ南部諸地方ノ
 ソレニ比シ遙色イテ西伯利ノ桑ヲリ成生セシ繭ハ絹織物
 業ノ要求ヲ充タシ且ツ精緻ナル科學的器具ヲ使用シ
 テ之ヲ取扱フニ能クハ莫ク高産ナル指數ヲ手ハ得ベキコ
 ト業証セラレタリ。
 西伯利ニ移テハ桑ノ業ノ出来高ハ反別(「ヘクター」)
 七ヶ八百¹ギロケラム¹ナルニ付企業トシテ養蠶業ヲ充
 達セシムルコト可能ナルノミカ養蠶業ニ從事ナルコトハ全
 ク有利ニシテ、¹桑一¹ヘクター¹ノ栽培ヲリテ五百留ヲト
 得ベシ。トハスク¹市ノ気温ニ能ク適應卵紙ノ保存ガ

CII



可能ナル事ヲ解明スル以上養蠶蠶業ハ集團農
業者ニモ個人多量農ニモ大ニ利益收入ヲ齎スベク
命シテ養蠶蠶業ヲ營ハシカリテモ新ニ建物ヲ設ルトカ又
其他ニ餘分ノ出費ヲ要セザルモノナリ。

由之觀之ノルニシテ年度ニ於テ繁クナル仕務ハ西
部西伯利ノ地域ニ出来得ル限リニ範圍ニ桑ノ木ノ
栽培試作ヲ弘メソレニ依リテ作物ニ對スル土地ノ氣
候並ニ土壤ノ影響ガ如何ナルヤヲ精分ニ究明スルコト
シテ此ノ問題ハ集團農蠶業ヲ導致スル州内公共
事業機關ガ務トシテカテ任事ナリ。
桑ノ試作栽培ニ必要ノ条件ハ何ヤト云ハバ白
白キイ平方新ノ土地(家畜ノ便入セザル)ト栽培ニ對スル
極メテ簡單ナル施設及ソレノ成育ニ留意スルコトナリ。

田ノ種子苗不及播種法栽培法並ニ桑ノ取扱等
ニ關スル事引等ヲ所要ノ向ハスルコト自治州苗圃
宛申込ミテ種善シテ寄贈スベシ

